

第26回 高輪築堤調査・保存等検討委員会

開催記録

1 開催概要

- 日時：令和5年1月12日（水）10：00～12：00
- 場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 ホール5A
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・谷川 章雄氏（早稲田大学 人間科学学術院 教授）
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） ・小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・古関 潤一氏（東京大学 社会基盤学専攻 教授）
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁文化財第二課 史跡部門 ・港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・港区街づくり支援部 ・東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課 ・東京都 交通局 建設工事部 計画改良課 ・独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部 ・独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 基盤整備計画部 ・鉄道博物館 学芸部 ・東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 建設部 ・京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 品川開発推進部
事務局 京浜急行電鉄(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 建設部
サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・パシフィックコンサルタンツ株式会社

■ 当日配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料 1：第 25 回委員会議事録案
- ・ 資料 2：3 工区（南横仕切堤～旧品川停車場側）試掘調査の進捗について
- ・ 資料 3：遺構への環境低減に向けた連立事業仮設計画の見直しについて

2 議事要旨

2.1 部会②

(1) 開会

- 第 26 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会②を開会する。(事務局)

(2) 第 25 回委員会 (12/26) の議事録確認

- 前回の臨時会からの日が浅く確認が取れていないため、1 月 16 日までに修正等の指摘を事務局まで連絡するようにお願いします。(事務局)

(3) 試掘調査 (南横仕切堤～旧品川停車場側) の進捗について

- 資料 2 の説明。(港区)
- 水溜部分は水底に至っていないが、いずれ成果が出ると思っている。(委員長)
- 南横仕切堤の東西の矢板列は十分な成果であり、橋梁と反対側の護岸との作りが似ていると思われ、少なくとも遺構が残っていることは確かだろうと考える。調査の成果を待ちたい。(委員長)

(4) 遺構への影響低減に向けた連立事業仮設計画の見直しについて

- 資料 3 の説明。(京急・事務局)
- 京急の作業構台について杭本数の削減に感謝するが、杭 1 本あたりどのくらいの面積を掘削するのか教えてもらいたい。(都教育)
 - ← プレボーリング工法を用い、 $\phi 800\text{mm}$ のオーガーで掘削する。口元管が $\phi 1200\text{mm}$ 必要になるので、その部分を壊すことになる。引き抜きについては正確な施工計画がまだだが、 $\phi 1400\text{mm}$ 程度が必要になるとを想定する。(京急)
- 杭を埋め殺すという選択もあるのか。(古関委員)
 - ← 本設構造物の杭と重複する部分もあるので、原則引き抜くこととしたい。(京急)
 - 抜く必要があるものと残せるものがあるのではないか。引き抜くときにより大きな径で遺構を乱すことを防げると考える。(古関委員)
 - ← できないことはないため、検討する。(京急)
 - ← 杭の残置については今後の土地の使い方を含めて検討する。(京急)
- ハツ山橋梁の検討結果は素晴らしいが、用地の問題等で反対側からの送り出しができないことを明記したほうがよい。(古関委員)

(5) その他

- 電留線部の本設構造物は前回の臨時委員会で、仮設構造物は本日の委員会でそれぞれ承認いただき感謝する。(都建設)
- 本日の全体会で調査の方針が承認されたので、今後は京急連立の調査について本格的に進めていく。(委員長)
- 第8橋梁の南横仕切堤について次回報告を予定するが、その後必要な調査や対応など改めて相談させてもらいたい。調査方法などは港区と相談し必要に応じて委員会でも検討してもらいたい。(都建設)

(6) 閉会

- 次回委員会は2月1日(水)10時00分より開催を予定する。会場はJR品川プロジェクトセンターを予定する。本日はこれで閉会とする。(事務局)

3 議事録

3.1 部会②

(1) 開会

(事務局) ここからは事務局を交代し、部会②を進める。

(2) 第 25 回委員会 (12/26) の議事録確認

(事務局) 資料は前回臨時で開催したものの議事録案となっている。まだ日が浅く全員の確認がとれていない。齟齬等あれば 1 月 16 日までに加筆・修正の連絡をお願いしたい。

(委員長) 修正等は 1 月 16 日までに事務局まで連絡するようにお願いします。

(3) 試掘調査 (南横仕切堤～旧品川停車場側) の進捗について

(港区) 資料 2 説明。現在 3 工区周辺の試掘調査を実施している。④のボーリング調査については明日から実施と伺っている。現在実施している調査は⑦の南横仕切堤の確認と⑧の溜池の部分である。⑧は土留を確認し、埋め土の中の調査を行っている最中となる。次回の委員会で報告する。⑦については、写真にある通り板と杭が続いている状況は 11 月に報告をしているが、これがどこまで続いているか人力掘削で調査をしている。少なくとも 1 枚はあると思われるが、それ以上ある印象と報告を受けている。調査は基礎のフーチングの間を掘っているので、現段階でこれ以上の調査は難しい状況である。今回の発見から、全面的に乱されているという認識を改め、部分的に遺構が残っているものという理解で今後も調査を進めたい。

(委員長) 質問や意見はあるか。

(委員長) 水溜の部分はまだ底に至っていないが、いずれ成果が出ると思っている。南横仕切堤の東西の矢板列がきれいに出てきている件については、十分な成果と考える。橋梁と反対側の護岸と作りが似ていると思われる。少なくとも遺構が残っていることは確かだろうと考える。調査の成果を待ちたいと思う。

(委員長) 他に質問、意見がなければ次に進める。

(4) 遺構への影響低減に向けた連立事業仮設計画の見直しについて

(都建設) 資料 3 の説明に先立ち、前回委員会の説明において本設部分の説明を行ったが、本日は仮設部分の見直し検討結果を報告したい。

- (京急) 資料3 P1-2 説明。まずは作業構台の説明を行う。資料3の1ページ目にある作業構台①は駅部、作業構台②は軌道面をそれぞれ構築するための構台となり高さが異なる。2ページ目に今回検討した結果を示す。結果として作業構台①を200㎡、作業構台②を180㎡それぞれ削減したこと、基礎杭本数を概ね半減したということとなる。
- (事務局) 資料3 P3~4 説明。続いて八ツ山橋梁の架設構台を説明する。JR線の上に係る京急線の新設橋梁となる。前提条件として施工ヤードの限界より送り出し架設となるため、その前後に架設に必要な構台が必要となるものである。この架設構台においても遺構に配慮し、構台規模を小さくして杭の本数を減らすという検討を行った。結果として延長21mの縮小、基礎杭16本の削減が実現した。
- (委員長) 質問や意見はあるか。
- (都教育) 京急の作業構台について、削減には感謝するが杭1本当たりどのくらいの面積を掘削するのか教えていただきたい。
- (京急) 基礎杭の工法としては、プレボーリング杭工法を用いる。φ800mmのオーガーで掘削するため、その部分の遺構を破壊することになる。ただし杭の先端に、口元管φ1200mm必要となるため、最終的にはφ1200mmの遺構を破壊することになる。引き抜きについては正確な施工計画はできていないが、φ1400mm程度となることを想定する。
- (古関委員) 杭を抜かないという選択もあるのか。
- (京急) 資料3の1ページをご覧ください。作業構台杭と本設杭が重複する部分もあるので、原則としては引き抜くこととしたい。
- (古関委員) 抜く必要があるものと残せるものがあるのではないかと考えている。引き抜くときにより大きな直径で遺構を乱すということが防げるのではないかと考えている。
- (京急) できないことはないが、そこまで検討をしていない。検討する。
- (古関委員) 八ツ山の方の検討結果は素晴らしい。ただし反対側からの送り出しができないことも、明記しておいた方がよい。用地の問題等や借地すらできないことを記載いただいた方がよい。
- (京急) 杭の残置については、今後の土地の使い方を含めて検討させていただきたい。
- (委員長) 今回の作業構台、八ツ山橋梁の検討は大変ありがたいことと思う。本日の指摘について引き続き検討していただきたい。
- (委員長) 他になければ次に進む。

(5) その他

- (委員長) その他なにかあるか。
- (都建設) 電留線部の本設構造物は前回の臨時会で、仮設については本日の委員

会で、それぞれ承認をいただき感謝する。引き続き本調査に向けて、文化財行政と調整して進めていきたい。

(委員長) 本日の全体会で調査の方針が承認されたので、今後は京急連立の調査について本格的に調整を進めていくことになるので願います。

(都建設) 第8橋梁の南横仕切堤について、次回委員会ですべての調査報告を行えると思っているが、その後どのような調査が必要かご相談させていただきたい。どのような調査ができるかなど、まず港区教育委員会と相談し、必要に応じて委員会の場で検討していただきたいと思います。願います。

(6) 閉会

(委員長) これで終了する。

(事務局) 次回委員会は、2月1日(水)10時00分より、開催予定である。会場はJR品川プロジェクトセンターを予定する。本日はお忙しい中貴重なご意見をありがとうございました。閉会とする。

以上